

# 活動報告——令和五年度

## ——令和五年度例会記録——

第一回例会（大会）四月二十二日（土）

・江戸末期における漢籍の流転…『竹友集』を例として 富 嘉吟

・中国語の語氣副詞「可」の意味論 伊藤さとみ

第二回例会 七月一日（土）

・現代中国における「シスターフッド」の形成——「女子書店」の活動を手がかりに 魏 晨

第三回例会 九月二日（土）

・隠藏与表現…废名小说中的文体价值 王 小環

・中島敦の近代中国への関心における家族の影響 閻 瑜

第四回例会 十二月二日（土）

・『急就篇』と『千字文』とのつながりについて——北魏における受容と継承、南朝梁における刷新—— 泰田 利栄子

◇令和五年四月二十二日（土）に第四十二回大会をオンラインで開催した。大会終了後総会を開き、令和五年度の会務、会計報告を行った。

◇同日付で会誌『お茶の水女子大学中国文学会報』第四十二号を発行した。

卒業論文・修士論文題目

令和五年度三月卒業（七名）

池田 彩希 「東京女子図鑑」と「台北女子図鑑」の比較研究

奥村 英里 読者と作品の距離を遠ざけない日中翻訳のあり方―張愛玲「色、戒」日本語翻訳版の比較から―

高田 愛 了<sup>1</sup>と了<sup>2</sup>の違いについての一考察―了<sup>2</sup>と発話時点・基準時点／時間との関係を中心に―

藤平 莉子 「台湾人」意識と対中民意の関連性

平林 愛奈 中国語におけるサブカル関連用語の外来語研究

石原 千鈴 方向補語“起来”の派生義に関する一考察

工藤 千晶 中国系SNSアプリが在日中国人の母語能力に与える影響について

令和五年度三月修了（二名）

水野 志和 日本における中華BL受容

謝 婧 張九齡離別詩について―官職変遷に着目して